

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島学園
児童・生徒数 24名
学校だより 2月号
令和7年2月25日発行

本質を見失わない

校長 西田 裕之

私が、教育の本質について深く考えた出来事を、3つ紹介したい。

1つめ。管理職になるための任用試験というものを15年以上前に受けた。市教委がそのための学習会を開いてくださり、数回参加した。その中で、退職された校長先生の講話があった。そこで聞いた言葉が今でもずっと心に残っていて、考え方の基本になっている。

親の、我が子への愛情は、もともと理不尽である。

「いろいろな考えをもつ保護者の方がいらっしゃって、時には対応に悩んでしまうこともある。でもそれは当たり前なんですよ。なぜなら、親の、我が子を思う気持ち自体が、もともと理不尽なんだから。」私自身、子を持つ親であり、特に最初の子育てにはずいぶん悩んだ。全て自分の責任であり、おかげで子育てには全く自信がない。それでも我が子が一番かわいくて、一番大事である。それが親なのだ。私は先の言葉に衝撃を受け、それを機に、保護者の方々との接し方が変わったように思う。子育てに悩んでいる保護者の方を見ると、何も力にはなれないが、ただ、心の底から共感することだけはできる。それまでは、偉そうに正論を振りかざしていた自分がいた。恥ずかしい限りである。

2つめ。以前、お世話になった教頭先生から言われた言葉。

目の前の子どものことを考える。

トラブル発生。叩かれた子がいれば、叩いた子がいる。叩かれた子と語るときは、目の前の、叩かれた子のことを精一杯考えて語る。叩いた子と語る時も、目の前の、叩いた子のことを精一杯考えて語る。単純で、当たり前のことのように感じてしまうが、子どもだけでなく大人に対しても同じで、私は、人と接する際の基本に据えている。

3つめ。教諭時代の最後の2年間、算数の専科として子どもたちの学力向上に全力を注いでいた。専科と言っても必ず学年部に所属する。高学年部でいろいろとあった。その中で、「6年生の子どもが中学生に殴られた」という情報が入った。記憶が定かでないが、殴られた保護者も出てきて大変な状況になり、最終的に、中学校の生徒指導主任が当該生徒を連れて、学校に謝罪に来た。校長も同席する、なかなかの緊張感のある場だったように記憶している。しかしながら、肝心のその生徒や母親からは反省の言葉はなく、逆に生徒は反抗的な態度を露わにしていた。生徒指導主任は天を仰ぎ、校長は「何のために来たの？」とため息をつく状況だった。話が通じない中、最後に私が一言だけ、その女子生徒に強く語った。

〇〇さんは、今回のことを通して、成長しなきゃいけないんだよ！

後日その生徒が、「西田先生という人にめちゃくちゃ叱られた」と言っていた、という話を聞いた。ほんのちょっとだけ、言葉が届いたのかもしれないと思った。

私は、我々教師は、目の前の子どもたちを成長させることに全力を注ぐ。子どもを伸ばすという、教師としての本質を絶対に見失うことなく、今後も学校経営を進めていきたいと思っている。

卒業式まで、あと2週間となりました。大切な子どもたちを、胸を張って送り出したいと考えております。皆様の祝福を、どうかよろしく願いいたします。

受験シーズンの到来

私立高校の入試が1月末から始まっています。3月の公立高校受験まで、9年生は誰かが受験のために島外に出ているというさびしい状況です。全員がそろうのは卒業式の日となる予定です。卒業後は島立ちをし、それぞれの進路に進んでいく9年生にとって、宝島で過ごす日々は残り少ないです。すでに進路決定した生徒もおりますが、全員が進路を決定し、9年間の義務教育の学習を修了できるように、最後まで頑張っています。皆様応援よろしくお願いします。

薬物乱用防止教室

1月21日(火)学校薬剤師の長野先生に来島いただき、5・6年生、後期課程の2時間、薬物乱用防止教室を開催していただきました。今年度は、薬物の危険性を学ぶと共に、最近問題となっている、危険ドラッグなどを勧めてくる悪い人たちからの誘いを断る練習を組み入れてくださいました。言葉巧みに誘ってくる怪しい声かけをどのように断るか、実際に声を出して練習することができました。その場面になったときに、毅然とした態度がとれるように心に刻んだ様子でした。また、夜は社会教育学級で「自分でできる健康チェック」と題して、定期的な健康診断の大切さや結果の見方、自分で手軽にできる健康チェックの方法など教えていただきました。



勇気をもって誘いにNO!



健康診断は定期的!

忙しい毎日ですが、バランスの良い食事や適度な運動、しっかりした睡眠など子どもたち同様、大人の皆様にも必要ですね。

来年度に向けて

3学期は学年の締めくくり、次年度の〇学期と呼ばれます。児童生徒会の活動も残り一月となり、1年の振り返りを行いました。これまでの活動を振り返り、頑張ってきたことや、残りの期間でできる改善策などが出されました。自分たちの学校を更によくしていくため、そして、楽しく頑張れる活動を、自分たちで進めていきましょう。



3月以降の主な行事予定

- 5・6日(水・木) 鹿児島県公立高校入試
- 8日(土) 宝島学園卒業式及び前期課程修了式
14:15開式 予定 (船の運行により変更の可能性)
- 25日(火) 令和6年度修了式・離任式
- 26日(水) 転出職員離島
- 26日～ 春季休業

祝! 卒業



○ 4月7日(月) 令和7年度新任式・始業式(※入学式は実施無しの予定)